

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 1-1 防災・減災対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 道路課、治水課、建築住宅課、市街地整備課、経営課、警防課

1. 目的

市民の防災・減災に対する意識を高めるとともに、災害に備えるまちづくりを進めます。

2. 展開内容

市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。

さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
自治会による自主防災組織の組織率	%	目標値		71.1	71.6	72.2	73.9
		実績値	70.5(R2)	72.6	74.1		
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	目標値		19	20	22	25
		実績値	18(R2)	18	21		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
自治会による自主防災組織の組織率	達成	未設置の自治会に対し、自主防災組織の目的や必要性等を説明し自助・共助の重要性を理解してもらえたことが設立に繋がったと考えます。引き続き、未設置の自治会に対して丁寧な説明を行い理解を得られるよう進めていきます。
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	達成	各自治会に避難要支援者名簿の提供について、自主防災組織連絡協議会の総会において周知し、丁寧な説明をしてきました。令和5年度は3件の申し出がありました。引き続き、随時受付を行うとともに、制度に関する説明についても随時実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	189の自治会のうち140の自治会が自主防災組織を設立しているが、高齢化や担い手不足から訓練実施等に差が生じてしまっています。 引き続き自助・共助・公助の体制強化を図るとともに市民一人一人に対して防災・減災に対する更なる意識向上が必要と考えるので、市としても支援をしながら周知を図っていきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 1-2 浸水対策の推進

主管課 : 建設部 治水課

関係課 :

1. 目的

台風や大雨等による浸水被害を少なくするための取組を進めます。

2. 展開内容

市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。
さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
浸水対策達成率	%	目標値		68.2	69.3	70.5	74.0
		実績値	67.0(R2)	67.9	68.0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
浸水対策達成率	未達成	柴崎地区、若松地区、布佐地区で重点的に浸水対策を進めています。若松地区については予定通り事業は完了しました。柴崎地区及び布佐地区は、用地の確保、既設道路や雨水排水を考慮しながらの施工、不明埋設物の対応などの様々な問題があり、一部を繰越したところですが、大規模な事業であるため、着実に進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>柴崎地区及び布佐地区は、用地の確保、既設道路や雨水排水を考慮しながらの施工、不明埋設物の対応などの様々な問題があります。</p> <p>用地の確保は、所有者の理解・協力、また既存道路での工事は、交通規制や騒音・振動などの課題について、今後も丁寧に説明し、ご不便をおかけする皆様の理解・協力が得られるよう努めていきます。また、高度化・複雑化する工事について、職員の技術力向上に努めるとともに、計画的に工事を実施し、財源の確保に努めていきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 1-3 防犯対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 商業観光課、指導課

1. 目的

犯罪の起こりにくい環境づくりと、市民の防犯意識の向上を図ります。

2. 展開内容

防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
刑法犯認知件数	件	目標値		590以下	590以下	590以下	590以下
		実績値	590(R2)	507	607		
市内一斉パトロール延べ参加者数	人	目標値		1,497	1,511	1,526	1,570
		実績値	1,482(R2)	1,973	1,757		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
刑法犯認知件数	未達成	令和5年度は、特に侵入盗や自転車盗の増加が顕著となりました。警察の見解では、新型コロナが第5類に移行したことにより、人々の行動が活発になったことから犯罪も増加傾向にあるとのことです。引き続き、警察や関係団体と連携しながら防犯啓発を行い、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。
市内一斉パトロール延べ参加者数	達成	新型コロナが第5類に移行したことにより、制限を設けず実施したことにより目標を達成しました。しかしながら、昨年度から実績は減少しており、パトロール担い手の減少・高齢化が課題となっています。引き続き、市民の防犯意識向上を図りながら実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	警察、防犯協議会等と連携し、市内一斉パトロールなどの啓発活動を行いました。近年は電話de詐欺等の特殊詐欺や自転車盗が多く発生しているため、更なる広報や啓発活動を継続して行うことが重要と考えます。引き続き各関係団体と連携しながら防犯意識の向上を推進していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 1-4 消防力の強化

主管課 : 消防本部 警防課

関係課 : 消防本部総務課、予防課

1. 目的

火災などの災害から市民を守るため、消防・救急・救助体制を充実します。

2. 展開内容

災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。

また、火災予防体制の強化を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	%	目標値		68.4	74.7	81.0	100
		実績値	56.5(R2)	62.1	42.1		
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	目標値		0	0	0	0
		実績値	0(R2)	1	1		
救命講習年間受講者数	人	目標値		5,958	6,338	6,718	7,800
		実績値	5,578(R1)	3,222	4,684		
消防用設備等の点検報告率	%	目標値		55.8	58.7	61.5	70.0
		実績値	53.0(R2)	54.3	60.0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	未達成	災害出動件数の増加に伴う管轄外出動件数の増加が、目標の未達成要因であると考えられます。今後は、目標を達成できるよう出動体制等の見直しを図ります。
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	未達成	令和5年度は、住宅防火対策の推進及び立入検査等については、事業計画どおりに実施することができました。今後も住宅火災による死者数軽減のため、住宅用火災警報器の適正な設置、維持管理等を広報、指導し死者数0を目指します。
救命講習年間受講者数	未達成	令和5年度は、感染症対応に係る開催場所等の制限を段階的に緩和し実施したが、目標を達成できませんでした。今後は、制限を全面的に緩和し、目標を達成できるよう啓発活動を強化します。
消防用設備等の点検報告率	達成	令和5年3月に、消防用設備等点検報告未実施の建物関係者に対し、文書で点検報告を依頼した効果はある程度確認されました。令和5年12月にも同様の依頼文書を消防用設備等点検報告未実施の建物関係者に対し送付しております。今後も点検報告率向上を目指します。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調とはいえない	<p>昨年度同様、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、災害出動件数が増加したことに伴い現場到着までの時間が延伸しました。また、応急手当普及業務についても、新型コロナウイルス感染症に対応した実施方法で開催をしたが、受講者数の目標を達成することができませんでした。</p> <p>消防力の強化に向け、火災予防体制の強化を含め実施事業の体制整備に努めます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 1-5 交通安全の推進

主管課 : 建設部 交通政策課

関係課 : 道路課

1. 目的

交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、安全な交通環境の整備を進めます。

2. 展開内容

交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
交通事故による死者数	人	目標値		3以下	3以下	2以下	2以下
		実績値	4(R2)	2	0		
交通事故の発生件数	件	目標値		241	241	240	240
		実績値	242(R2)	212	209		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
交通事故による死者数	達成	年4回の交通安全運動や市内小中学校で行っている交通安全教室の効果もあり、市内の交通安全の一助を担った結果であると考えています。今後も交通事故による死者数0を目指し警察と連携していきます。
交通事故の発生件数	達成	年4回の交通安全運動や市内小中学校で行っている交通安全教室の効果もあり、市内の交通安全の一助を担った結果であると考えています。今後も交通事故数0を目指し警察と連携していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	警察、交通安全協会等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い交通安全意識の向上、交通事故の防止を図ることが重要と考えます。新型コロナの影響から、実施する回数が減少していたが、今後も引き続き、継続的に実施することで交通安全に対する意識が向上し、交通事故の防止につなげていきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 2-1 地域福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、生活衛生課

1. 目的

人と人がつながり、地域のみんで助け合い支え合う環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
民生委員定員充足割合	%	目標値		91.4	93.1	94.9	100
		実績値	89.7(R1)	89.8	94.1		
社会福祉協議会のボランティア登録者数	人	目標値		6,826	7,221	7,616	8,800
		実績値	6,431(R2)	6,919	6,783		
孤立死の件数	件	目標値		2以下	1以下	1以下	0
		実績値	2(R2)	0	0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
民生委員定員充足割合	達成	令和5年度は、各地区の民生委員の協力などにより、新たな民生委員を委嘱し、目標値を超える人数を確保することができた。しかし、民生委員の定数確保までには至っていないため市の広報やSNSを通じ定数の確保に努めていきます。
社会福祉協議会のボランティア登録者数	未達成	目標値に達することができず昨年度の実績数値よりも減少となったが、社会福祉協議会では、ボランティア数を増やすため子どもから大人までを対象としたボランティア体験事業を令和4年度から実施しています。体験事業を通じてボランティアの確保に努めていきます。
孤立死の件数	達成	引き続き、障害者支援課、高齢者支援課、社会福祉課の3課で連絡・情報共有を行い対応をしていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	少子高齢化と核家族化により地域での関係が希薄化する中で、地域共生社会の実現には、民生委員の役割が重要となるため、充足割合の目標値を達成できたことを評価します。今後は、各地区の民生委員の欠員が早期に解消されるような対策を講じていきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 2-2 健康づくりの推進

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 国保年金課

1. 目的

誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。

また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
特定健康診査の受診率	%	目標値		54.0	60.0	-	60.0(R5)
		実績値	31.7(R2)	34.7 (R3)	35.3(R4)		
特定保健指導の実施率	%	目標値		45	60	-	60.0(R5)
		実績値	40.1(R2)	29.3 (R3)	23.6(R4)		
がん検診受診率	%	目標値		7.7	9.2	10.7	15.2
		実績値	6.2(R2)	6.6	6.2		
救急搬送者の市内医療機関収容率	%	目標値		90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持
		実績値	98.5(R2)	97.4	97.0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
特定健康診査の受診率	未達成	前年度より上昇していますが、未だ目標と比して低い状況です。自営業者への対策として、我孫子市商工会と連携し、我孫子市商工会が実施した健診を市の健診（みなし健診）として受診結果を取り込んでおり、我孫子市商工会をとおして受診勧奨や啓発を実施しています。また、近年受診歴がある方などには、個別の受診勧奨を行っています。こうした内容を今後も継続して取り組んでいく他、生活習慣病通院中の方の情報提供を推進し、受診率向上を図っていきます。
特定保健指導の実施率	未達成	近年実施率は低下しており、目標未達成の状況です。特定集団健診における初回面接の分割実施を進めていくほか、特定保健指導利用予約の電話を直接受け付けるなどの取組により、利用拡大を進めていきます。また、イベントと併せて特定保健指導を実施したり、地区ごとに交通の便を掲載したチラシを同封するなど、実施率向上を図っていきます。
がん検診受診率	未達成	個別の受診勧奨に加え、広報やメール・LINE・フェイスブック等のSNS、駅の階段を活用した啓発などを実施したものの、目標は未達成となりました。今後も個別の受診勧奨を行っていく他、薬局等で女性のがん検診啓発のためのチラシやカード、ポケットティッシュ等の配布・配架等、啓発方法や内容を検討しながら、がん検診の重要性を周知していきます。
救急搬送者の市内医療機関収容率	達成	令和4年度に比べて搬送者数は増加傾向にありましたが目標値を上回る収容率を維持できました。 令和5年度より市内救急病院数が6病院から5病院に減少したことで市内受入率が微減となったことが考えられますが、割合について今後も動向を注視していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>特定健診、がん検診、歯科健診など各種健（検）診の必要性について、広報やメール・LINE・フェイスブック等のSNSを活用したり、様々な健康教育等の機会を活用し、周知啓発を実施したことで、疾病の早期発見・治療につなげることができました。</p> <p>引き続き、市民の健康増進を図っていくため、啓発方法や内容を検討し、各種健（検）診の内容の充実と受診率向上を目指していく必要があります。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 2-3 高齢者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 高齢者支援課

関係課 :

1. 目的

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと生活できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。
また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
要支援・要介護認定率	%	目標値		18.2以下	18.2以下	18.2以下	18.2以下
		実績値	16.3(R2)	17.8	17.9%		
きらめきデイサービス利用者数	人	目標値		1,367	1,393	1,420	1,500
		実績値	1,340(R1)	916	950		
認知症サポーター養成者数	人	目標値		13,738	14,951	16,163	19,800
		実績値	12,526(R2)	14,703	16,185		
高齢者なんでも相談室への相談件数	件	目標値		29,114	30,291	31,469	35,000
		実績値	27,937(R2)	31,514	33,318		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
要支援・要介護認定率	達成	高齢者が介護予防の必要性を理解し、主体的に取り組めるよう、講演会の開催や出前講座、75歳のサービス未利用者に対する個別通知等、健康づくりに関する知識の普及啓発を実施しました。また、「強化型きらめきデイサービス事業」「遊具うんどう教室」など、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境づくりが進んだため、目標値を達成できました。
きらめきデイサービス利用者数	未達成	新型コロナの影響により、令和2年度に利用者が激減しました。その後、感染症による制限が緩和されるにつれ、徐々に利用者は増えてきてはいます。しかし、新規利用者などが増えない状況から、令和6年度の目標値には届きませんでした。
認知症サポーター養成者数	達成	認知症イベントの実施やガイドブックの配布、企業との包括連携協定により、市民や企業に積極的に普及啓発したことにより、認知症サポーター養成講座受講者数が幅広い世代で増加しました。引き続き啓発を実施していき、今後は認知症サポーターが地域で活動できる場所や方法等の体制づくりを検討していきます。
高齢者なんでも相談室への相談件数	達成	相談支援延べ件数だけでなく、一件の相談に複合課題を抱えた困難事例が増加傾向にあり、高齢者なんでも相談室は市民に身近な相談窓口として認知されていると言えます。複合課題への対応について、庁内関係各課と密に連携しながら相談支援を実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	高齢になっても自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するために、地域課題の解決に向け、地域の関係機関や専門職と連携して支援することができました。引き続き施策を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう環境づくりに取り組むことが重要です。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 2-4 障害者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 障害者支援課

関係課 : あらき園、障害者福祉センター

1. 目的

障害のあるすべての人の個性が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
在宅福祉サービスの延べ利用者数	人	目標値		2,548	2,613	2,679	2,875
		実績値	2,482(R2)	2,654	2,737		
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	人	目標値		10,862	11,560	12,258	14,352
		実績値	10,164(R2)	12,428	13,467		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
在宅福祉サービスの延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来た。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していく。
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来た。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していく。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	介護、訓練、医療給付、相談支援などの、総合的な支援体制を充実させると共に、子どもや高齢者、医療機関などの関係機関と連携して支援することができました。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 2-5 生活支援の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、国保年金課

1. 目的

社会保障制度が理解され、医療や生活保障を必要な人が受けられる体制づくりを進めます。

2. 展開内容

年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。

生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
被保護者就労支援事業による就職率	%	目標値		46.9	50.9	55.0	67.0
		実績値	42.9(R2)	67.5	64.8		
介護保険料収納率	%	目標値		99.4	99.4	99.5	99.5
		実績値	99.4(R2)	99.4	99.4		
国民健康保険税収納率	%	目標値		93.7	93.8	93.9	94.2
		実績値	93.6(R2)	93.9	93.6		
後期高齢者医療収納率	%	目標値		99.7	99.7	99.8	99.8
		実績値	99.7(R2)	99.6	99.6		
国民年金保険料納付率	%	目標値		76.8	76.9	76.9	77.0
		実績値	76.8(R2)	81.4	82.0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
被保護者就労支援事業による就職率	達成	新規生活保護受給者に対して、引き続き就労意欲が低下しないよう早期に就労支援プログラムへの参加を促したことが、実績値を伸ばす要因となったと思われます。
介護保険料収納率	達成	納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、債権回収室との連携、督促や催告を適切に実施したため。
国民健康保険税収納率	未達成	令和5年度より多種多様な納付方法を取入れ納期内納付の推進を図りました。また、督促や滞納整理を行い税の徴収に努めましたが、目標には届きませんでした。今後は、滞納整理の早期着手（滞納処分として給与、預金債権を中心に差押）をすることで滞納額の縮小に努めます。
後期高齢者医療収納率	未達成	督促・催告通知に加え、分納不履行者に対して電話催告をするなど、保険料の徴収に努めたが、目標には届きませんでした。今後も目標を達成できるよう、滞納者には納付相談を促し、新たな滞納者が増えないよう督促を行っていきます。
国民年金保険料納付率	達成	多様な納付方法や納付困難な場合の免除申請等の案内を丁寧に行うことにより、目標を達成することができました。今後も年金制度を理解していただけるよう丁寧な説明、正確な情報提供に努め納付率の向上を図っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	複合的な課題を抱える市民に対し、関係課と民間の相談支援機関が相互に連携し、総合相談の体制により必要な支援につなげることができました。また、被保護者就労支援事業の就職率について、目標を達成できましたが、生活困窮者の自立を促進するため、就労支援事業をさらに充実させていきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 社会福祉課、子ども支援課、保育課、子ども相談課、学校教育課

1. 目的

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援に取り組みます。

2. 展開内容

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。
多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。
子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
保育園等の待機児童数	人	目標値		0	0	0	0
		実績値	0	0	0		
妊婦健康診査受診率	%	目標値		95.8	96.6	97.5	100
		実績値	94.9(R2)	97.4	96.2		
麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	目標値		96.8	97.4	98.1	100
		実績値	96.1(R2)	88.9	92.4		
学童保育室入室許可割合	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	96.5(R2)	97.9	98.2		
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	100(R2)	100	100		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
保育園等の待機児童数	達成	第三次我孫子市保育園等整備計画により、保育ニーズに合わせた定員数を設定しています。今後も保育士の確保に努め、待機児童ゼロを継続していきます。
妊婦健康診査受診率	未達成	妊婦健康診査受診率は計画当初より増加していますが、令和5年度の目標を下回っています。妊婦届出時面接においての受診勧奨やホームページ等で母子健康手帳の交付及び妊婦・乳児健康診査についての周知を引き続き行います。
麻疹風しん予防接種対象者の接種率	未達成	新型コロナウイルス感染回避のための医療機関受診控えの影響で接種率が減少した令和4年度に比べ、接種率は増加していますが、令和5年度の目標を下回っています。 ホームページや広報での周知を行っていくほか、保育園・幼稚園への接種勧奨のお知らせや就学時健診等での案内配布、未接種勧奨、健診等での個別通知の実施を継続し、接種率向上に努めます。
学童保育室入室許可割合	未達成	学童保育室の必要性が高い1～4年生については、入室申請に対し許可割合100%を達成していますが、5・6年生について定員を超えた場合に不許可決定を行ったため、未達成となりました。児童数の推移を見極めながら、入室希望者に適切に対応できる環境整備を検討していきます。
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	達成	関係機関とのネットワークを利用して調査し、48時間以内の安全確認及び目視を行っています。 今後も引き続き実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>母子保健は妊婦・産婦・乳幼児とその保護者が健康に過ごすために重要であり、一生の健康の基盤となるものです。妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援を行うため、「母子保健の充実」を掲げた事業を着実に実現していきます。</p> <p>子どもの感染症の発病予防、重症化防止及び集団感染の予防を図るため、国が定める法定接種や、市独自事業として法定外接種の助成を行っています。</p> <p>また、保護者のニーズを的確に把握しながら、保育、子育て環境の充実を図っていきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 3-2 子どもの成長に応じた発達への支援

主管課 : 子ども部 子ども相談課

関係課 : こども発達センター、教育相談センター

1. 目的

子どもとその家族が身近な地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。

2. 展開内容

家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	目標値		97	97	98	100
		実績値	96(R2)	97	98		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	達成	<p>初回面接時に保護者のニーズを聞き取り、発達検査等でお子さんの発達状況や発達特性を把握し、保護者が適切に理解し受け入れられるように支援を行いました。その結果、早期に適切な相談・療育につなげることができました。様々な理由で、こども発達センターの利用につながらなかったご家庭に対しては、平日の夕方、土日利用できる民間の児童発達支援事業所を紹介し、定期的に状況の確認や定期検査の連絡をしました。また、必要に応じて、子どもの所属園や保健センターなどの関係機関と連携を取り、状況把握に努めました。</p> <p>令和5年度初回面接数 250名 相談・療育につながった人数 246名</p>

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	<p>初回面接時の保護者からの聞き取りと発達検査の結果から、発達の状況や特性を把握し、丁寧な説明に努めた結果、こども発達センターや民間事業所の相談や療育に98%のお子さんをつなぐことができたことから目標が達成できたと評価しました。また、相談や療育へつながらなかったお子さんに対しても、定期的に状況の確認や定期検査の連絡を行っています。今後も丁寧なかかわりを心掛け、事業を着実に推進していきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 3-3 魅力ある学校づくり

主管課 : 教育総務部 指導課

関係課 : 秘書広報課、教育総務部総務課、学校教育課、教育相談センター

1. 目的

確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
不登校児童生徒への対応率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	100(R2)	100	100		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
不登校児童生徒への対応率	達成	各担任が、電話連絡や家庭訪問、あるいは面談等を行い、不登校児童・生徒本人そして家庭との繋がりを常に保っています。各学校において、学校に登校するための手立てを保護者と一緒に考えて実践したり、リモート機器を活用したりと、個に応じた支援が見られます。また、教育支援センター「かけはし・ひだまり」や各校の校内教育支援センターが連携し、不登校児童・生徒の支援を効果的に行っているとともに、教育相談センターの指導主事、心理相談員も関わって対応しています。また、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するために、発達センターと連携し、幼児期を含め早期からの教育相談や就学相談、小学校の体験等を実施しています。一人一人の特性を把握し、安心して学校生活を送れるための適切な支援に繋げることで、不登校を未然に防止します。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	子ども達に「生きる力」を付けることを目指し、様々な具体的取り組みをとおして確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成に尽力しました。また、「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもを育成するため、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の活動の充実を図りました。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 3-4 心豊かにする体験・活動の推進

主管課 : 子ども部 子ども支援課

関係課 : 文化・スポーツ課、図書館

1. 目的

子どもたちが将来に夢や希望をもち、心豊かに成長できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
あびっ子クラブ登録率	%	目標値		54.6	55.7	56.8	60.0
		実績値	53.5(R2)	52.14	54.4		
チャレンジタイムの平均実施回数	回	目標値		142.9	152.3	161.8	190.0
		実績値	133.5(R1)	184.0	190		
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	目標値		8.33	8.52	8.70	9.25
		実績値	8.15(R1)	8.33	4.86		
げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	目標値		5.16	5.28	5.39	5.73
		実績値	5.05(R1)	3.48	8.64		
学校への調べ学習支援件数	件	目標値		74	75	77	80
		実績値	73(R1)	42	48		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
あびっ子クラブ登録率	未達成	新型コロナウイルス感染症に伴い、あびっ子クラブを休室して以降、利用登録者が減少しており、令和5年度についても目標値を下回りました。令和6年度から利用申請のデジタル化と電子決済を導入し、保護者の利便性向上を図ることで、登録率の改善を目指していきます。
チャレンジタイムの平均実施回数	達成	サポーターによるチャレンジタイムは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少しましたが、令和5年度については、新型コロナウイルス感染症以前と同様に実施することができたことから、目標値を達成しました。チャレンジタイムは子どもたちが様々な体験をするだけでなく、地域の方々と関わりを持つ機会を提供するという目的を達成できるよう、今後、内容についても検討をしていきます。
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	未達成	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこと等により、参加団体数は令和4年度から大幅に増加しました。しかしながら、当日雨天のため、手賀沼公園で行うイベントは一部中止とし、一部をアピスタ内で実施し、来場者は450人とどまりました。（令和5年10月15日開催）
げんきフェスタに参加した子どもの割合	達成	令和5年5月新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したこと等により、社会活動が回復した時期であったことに加え、効果的に市民に周知することができたためと考えられます。（令和5年6月25日開催）
学校への調べ学習支援件数	未達成	目標を達成することはできませんでしたが、移動図書館車による学校巡回を行い貸出数は延びています。調べ学習の依頼件数は減ってきていますが、子どもたちが直接本を選び貸出することで件数には表れない学習支援を実施することができました。また、学校図書館でも調べ学習資料の選定等についてのバックアップを行っており、計画策定当初と比べ調べ学習への支援方法が変わってきています。今後も引き続き移動図書館車による学校巡回とともに学校図書館と連携して学習支援を行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、コロナ禍以前の活動ができるようになりました。今後も家庭・地域・学校と連携を深めた施策を推進します。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 4-1 企業立地の推進

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 :

1. 目的

多様な企業の誘致を進め、雇用機会の拡大を図ります。

2. 展開内容

企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
創出した産業用地で働く市民の数	人	目標値		0	0	0	50
		実績値	—	0	0		
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	目標値		0	1	2	5
		実績値	—	0	1		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
創出した産業用地で働く市民の数	達成	産業用地整備に伴う関係機関との協議及び盛土に対する対策に時間がかかっていること等により、造成完了時期が令和9年度から遅延する見込みとなっています。
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	達成	令和5年度に、長年に渡り市内で事業を営んでいた事業者の再投資計画の認定をしました。令和6年度から固定資産税の納税が始まるため、令和6年度から令和8年度にかけて当該補助金制度による支援を行う予定です。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調とはいえない	柴崎地区産業用地整備事業では、ボーリング調査により盛土層があることが発覚しました。この対策に関する工費・工期について考察し、開発主体である共同企業体の意向を伺いながら、我孫子市の長年の課題である住工混在の解消を図るための事業として進めていくことができるか見極める必要があります。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 4-2 就労支援の充実

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 : 障害者福祉センター

1. 目的

働きたい人が働ける環境づくりを進めます。

2. 展開内容

関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	目標値		19.5	20.6	21.7	25.0
		実績値	18.4(R1)	21.5	22.9		
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	件	目標値		3	4	5	6
		実績値	3(R2)	3	3		
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	100(R1)	100	94		
障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	人	目標値		19	19	20	20
		実績値	19(R1)	6	6		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	達成	千葉県と共催している再就職セミナーでは、面接時の注意点など、就職活動に特化した内容で実施していますが、令和5年度は、例年以上に開催回数が多く、参加者が多かったことなどが、就職活動結果が良化した要因と推察されます。
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	未達成	働きやすい職場づくりを実践する市内事業者数に増減がなかったのは、厚生労働省が行っている各種認定制度について、企業側に広く知られていないものと考えられます。当該認定を受けている企業への支援策をはじめとして、認定を受けるメリット等について周知していきます。
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	未達成	特別支援学校や就労移行支援事業所、相談支援事業所等と連携して就労定着支援を行いました。家庭環境などの理由から1名の離職者が出ています。今後は、離職の原因となる要因を分析し、職場に定着できるよう支援対象者と企業の双方に働きかけを行っていきます。
障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行者数	未達成	令和5年度より「チャレンジオフィスあびこ」を開設したことや、就労支援センターを利用せず、就労移行支援事業所等から直接就労する方が増えたことから、就職準備支援の登録者そのものが減少したことに伴い、一般就労への移行者数も減少しました。今後は、就労に向けた多様なアプローチがある中で、就労移行支援事業所等と密に連携し、適切に役割分担しながら効果的な支援を行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>地域職業相談室においては、ハローワークと連携し、求職活動を行う方に就労先を紹介し、就職に繋げることができました。</p> <p>厚労省認定（くるみん認定、えるぼし認定、ユースエール認定、もにす認定、安全衛生優良企業認定）については、企業立地促進補助金の新規立地・再投資上乘せメニューとして雇用環境向上支援費を設定していることから、同補助金の周知に合わせて普及に努めていますが、認定によるメリットが少ないことから、興味を持つ事業者は少ない状況となっています。今後は、厚生労働省の制度普及と連携しながら、事業者への周知に一層努める必要があります。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 4-3 商工業の振興

主管課 : 環境経済部 商業観光課

関係課 : 企業立地推進課

1. 目的

地域経済を支える中小企業等への支援を行うとともに、起業・創業しやすい環境づくりを進めます。

2. 展開内容

中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
商店街団体等への年間支援件数	件	目標値		16	17	17	18
		実績値	16(R2)	16	20		
市内の事業者数（納税義務者数）	件	目標値		4,360	4,408	4,456	4,600
		実績値	4,312(R2)	4,471	4,644		
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	目標値		65	76	88	123
		実績値	53(R2)	72	75		
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	件	目標値		20	26	32	50
		実績値	14(R2)	19	22		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
商店街団体等への年間支援件数	達成	コロナが5類へと移行し、イベント等を再開する動きが多く見られ、申請件数も昨年度より増加しました。また、商店街をアピールする事業として、湖北の市や天王台地区市民まつり、布佐夜市などに加えて共通のTシャツ制作やアニメ制作など、今までにない新しい取り組みをする商店会もありました。各商店会の努力と工夫を促し住民生活と商業活動の間に良い関係を築くための持続可能な商業振興を実現する要の制度として、引き続き活用の推進に努めます。
市内の事業者数（納税義務者数）	達成	コロナの影響により売上げが落ち込んだ事業者に対し、国や県の給付金、市の事業継続支援金を続けたことで、事業者数の減少を食い止めることができ、目標の達成につながったものと考えます。R4から増加した173事業者の内訳は、法人が79、個人事業主が94となっており、正確に実態の把握はできていませんが、特に個人事業主は、国が副業を推進していることから、インターネットを活用したスモールビジネスを行う方が増加していることが想定されます。
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	未達成	我孫子市創業支援等事業を利用し、創業した事業者が想定より増加しなかったのは、市が行っている支援内容や各関係機関が実施している創業支援の取り組みについて、これから起業をする方への周知が不足していたものと考えられます。令和5年度から商工会と連携して開始した「女性起業ラボ（R5:23名参加）」等の取り組みも併せて、関連事業については引き続き配信メールや広報、SNSや市のホームページ等で周知していきます。
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	未達成	新型コロナウイルスの感染拡大時に実施されていた実質無利子無担保融資を利用している事業者が多数いることから、当該融資の返済等もあるため、新たな設備投資にお金をかけられない状況にあるものと考えられます。令和5年度の設備投資に係る融資件数は3件あり、コロナ禍前の申込数に近づいてきているため、今後、設備投資が増えていくものと見込まれます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>新型コロナウイルスが5類へと移行されたことが、商店街団体等への支援や市内事業者数が達成できた一番の原因と考えますが、商店会で共通のTシャツやアニメを制作するなど、新しい取り組みが出てきたことも良い傾向と考えます。</p> <p>公園坂通りのアピソンシュガーガーデンは、令和5年5月16日のオープン当初は店内に入りきれないほどのお客様が来店される状況が続きました。季節毎に新メニューを開発したり、イベントを複数回開催するなどして、現在も多くのリピーターや新規のお客様が来店し、盛況となっています。</p> <p>令和5年度は、実践創業塾・創業スクールとともに新たに商工会が主催する女性を対象とした女性起業ラボが開始し、起業・創業のしやすい環境が整備されています。</p> <p>我孫子市中小企業資金融資制度については、コロナ禍によるゼロゼロ融資の影響もあり、新規申込数はコロナ前の状況には至っていませんが、新たに小児科支援資金を創設するなど、市の現状の課題に即した支援メニューを創出しました。</p> <p>引き続き、市の支援制度により既存市内事業者と新規事業者を支援していくことが必要と考えます。また、小規模事業者や起業創業者に対して、事業資金の調達しやすい制度などを、商工会等とともに検討していくことが必要と考えます。創業支援等事業や融資制度を利用する事業者が適切に増加するよう、周知方法を検討していきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 4-4 農業の振興

主管課 : 環境経済部 農政課

関係課 :

1. 目的

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

2. 展開内容

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
農地利用集積面積	ha	目標値		294.6	313.7	332.8	390.0
		実績値	275.5(R2)	278.3	310.7		
新規就農者の経営体数	人	目標値		22	24	27	33
		実績値	20(R2)	23	24		
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	目標値		32	34	36	42
		実績値	29(R2)	27	30		
農産物直売所年間売上	千円	目標値		230,895	236,716	242,537	260,000
		実績値	225,074(R1)	272,626	276,445		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
農地利用集積面積	未達成	集積面積としては微増だが、地域における担い手が明確になっていないことから集積が進まず、目標値を下回りました。今後は地域計画の策定と併せて農地の集積を図っていきます。
新規就農者の経営体数	達成	新規就農希望者に対し、研修先の相談や営農計画の作成をはじめ農地の賃貸借まで、広くサポートを行ったことにより、1経営体が新規就農しました。引き続き、新規就農希望者の支援をはじめ、就農後の経営が継続できるよう関係各所との連携により支援を図っていきます。
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	未達成	取り組み農業者は増加傾向にあるが目標値に達しなかったため、今後も第2次あびこエコ農業推進基本計画に沿ってPRを進めていきます。
農産物直売所年間売上	達成	昨年度よりも売上額が増加しているが、物価高の影響も受けていることから、来客数やコストなどほかの数字も見ながら更なる売上増加を図っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新等を行い農業生産基盤の維持強化に取り組みました。</p> <p>農業の持続的な発展については、地元産農産物の付加価値の向上や地産地消の推進を図るため、生産者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発や市内外のイベントでのPRを実施しました。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 4-5 交流・関係人口の拡大

主管課 : 環境経済部 商業観光課

関係課 : 企画政策課、手賀沼課、農政課、公園緑地課、文化・スポーツ課

1. 目的

手賀沼をはじめとする地域資源を活用し、多くの人々に親しまれる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
観光イベント来場者数	人	目標値		232,250	232,500	232,750	233,500
		実績値	232,000(R1)	32,000	224,000		
観光関連施設来場者数	人	目標値		510,066	512,753	515,440	523,500
		実績値	507,379(R1)	527,195	535,746		
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなきちカップ参加者数	人	目標値		209	217	226	250
		実績値	201(R2)	243	261		
ふれあいキャンプ場利用者数	人	目標値		8,942	9,153	9,365	10,000
		実績値	8,730(H30)	5,682	5,293		
観光意欲度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		736	709	682	600
		実績値	764(R3)	837	840		
観光意欲度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		15.8	16.2	16.5	17.5
		実績値	15.5(R3)	14.7	14.5		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
観光イベント来場者数	未達成	コロナが令和5年5月に5類へと移行し、4年ぶりの開催となった手賀沼花火大会では、千葉県誕生150周年記念事業補助金を利用して「手賀沼横丁」会場を設けるなど、約18万人もの来場者で賑わいました。反面、産業まつりが雨天により中止となったことから、未達成となりました。（内訳：花火大会180,000、JBF36,000、カッパまつり8,000）
観光関連施設来場者数	達成	コロナが令和5年5月に5類へと移行し、各施設への来場者数は順調に推移しました。（内訳：親水広場490,904、鳥博30,010、白樺4,939、楚人冠2,744、村川3,469、井上3,680）
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎカップ参加者数	達成	当該イベントにおける市外参加者の増加については、手賀沼周辺の環境整備をはじめ、新型コロナウィルスの5類移行に伴うスポーツ活動の活性化が要因と考えられます。今後については、手賀沼周辺の活性化につながるような取り組みを、市内事業者等と連携して取り組む必要があります。
ふれあいキャンプ場利用者数	未達成	ソロキャンプを実施する利用者が増えたことにより、テントやタープの設置数が増加したことで休日の混雑状況に拍車がかかりました。このことから、平成30年度に比べ、定員数を減らしています。混雑状況のひどさは解消されたことから定員数は現状維持とします。令和5年度よりLINE申請を導入したことで、市外利用者も利用しやすい環境が整ったことから、利用者数の少ない平日を中心に利用者を増やせるよう、SNS等でふれあいキャンプ場について周知し、施策を展開します。また、ふれあいキャンプ場の指定管理については、今後、五本松運動広場の指定管理者検討に合わせ、検討していきます。
観光意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	本データは、地域毎に異なる資源状況を考慮していないため、市の取り組みが反映されにくい指標となっています。令和5年度プロポーザル方式で実施したアビシルベの指定管理者選考において、DMOの形成を目指すためのデータの収集等を求め、令和6年度からアビシルベやウェブサイト、各種イベント等で観光客の域内消費額や満足度、課題などについて詳細なアンケートを開始する予定です。今後は、この結果を指標とするなど、より正確に観光意欲度を把握できる方法を探っていきます。
観光意欲度（地域ブランド調査点数）	未達成	本データは、地域毎に異なる資源状況を考慮していないため、市の取り組みが反映されにくい指標となっています。令和5年度プロポーザル方式で実施したアビシルベの指定管理者選考において、DMOの形成を目指すためのデータの収集等を求め、令和6年度からアビシルベやウェブサイト、各種イベント等で観光客の域内消費額や満足度、課題などについて詳細なアンケートを開始する予定です。今後は、この結果を指標とするなど、より正確に観光意欲度を把握できる方法を探っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>コロナが5類に移行されたことで施設来場者数は順調に増加しました。手賀沼花火大会の4年ぶりの開催により、イベント来場者数も大幅に増加しており、雨天中止となった産業まつりが開催されていれば目標達成も可能であったと考えています。</p> <p>ふれあいキャンプ場についても、満足度が高いことから各日の定員数は減らしたままとし、LINE申請の導入により市外利用者等の平日利用増を目指します。</p> <p>観光意欲度については、令和6年度からアビシルベが実施する詳細なアンケートを基とした指標とするなど、より正確に把握できる方法を探っていきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-1 適正な土地利用の推進

主管課 : 都市部 都市計画課

関係課 : 建築住宅課、市街地整備課

1. 目的

良好な自然環境を保全しつつ、継続的にまちが発展できる土地利用を進めます。

2. 展開内容

現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。

また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
指標なし		目標値					
		実績値					

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
指標なし		

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	土地利用の規制や誘導は、各部門の関連計画の推進熟度にも影響されるため、各々の段階に応じた取り組みに合わせた支援を行い、実現に向け推進していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上

主管課 : 都市部 建築住宅課

関係課 : 都市計画課

1. 目的

誰もが暮らしやすい良好な住環境と魅力的なまちなみの保全・形成を進めます。

2. 展開内容

手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。
また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
市営住宅の入居率	%	目標値		93.2	94.5	95.9	100
		実績値	91.8(R2)	89.2	90.5		
空き家バンク累計登録件数	件	目標値		10	15	21	38
		実績値	4(R2)	10	12		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市営住宅の入居率	未達成	給水ユニット等の団地全体に影響を及ぼす設備機器の修繕を優先したため、当初予定していた空室修繕が十分に実施できませんでした。また、募集を行う住宅や募集時期が必ずしも応募者の希望と一致せず、需要と供給のミスマッチにより入居率の増加につながりにくい状況が見受けられました。 今後は、計画的に設備機器の更新・修繕を実施し、予定戸数の空室修繕が実施できるよう努めるとともに、より多くの入居者希望者に応募していただけるような募集方法を検討していきます。
空き家バンク累計登録件数	未達成	市内中古住宅は市場での流通が成立しており、空き家バンク新規登録は2件でした。また物件の立地や所有者の事情により、登録になじまない物件については、登録外において、所有者にあわせた情報提供や相談対応をしている状況です。 年度当初に課税通知に同封している空き家バンクのチラシを見た方からの問い合わせが増えているため、成約した所有者の声などのポジティブな情報も入れながら、引き続き、登録件数の増加に向けた制度周知や情報発信をしていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の適正な管理運営に努めるとともに、入居率の向上に向けた情報提供を継続し、入居者の常時募集を検討していきます。 ・空き家バンク制度の周知を工夫し、積極的な活用を促すとともに、住まいに係る各種支援、情報提供なども継続して実施していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-3 公共交通の利便性向上

主管課 : 建設部 交通政策課

関係課 : 企画政策課

1. 目的

誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境を充実します。

2. 展開内容

誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
JR成田線の1日の往復本数	本	目標値		42	42	42	42
		実績値	40(R2)	40	40		
JR常磐線駅ホームドアの累計設置数	基	目標値		0	2	5	5
		実績値	0(R2)	0	2		
あびバスの延べ利用者数	人	目標値		207,869	210,295	212,721	220,000
		実績値	205,443(R1)	178,279	194,273		
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	目標値		16,841	17,073	17,305	18,000
		実績値	16,609(R2)	15,296	16,762		
東海道線との相互乗り入れ往復本数	本	目標値		1	1	1	1
		実績値	0(R2)	0	0		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
J R成田線の1日の往復本数	未達成	R9までに1往復(2便)増やす目標であるが、新型コロナの影響により減少した乗客数が戻っていないことから、電車の増便は実現しませんでした。引き続き増便について要望を続けていきます。
J R常磐線駅ホームドアの累計設置数	達成	令和5年12月14日に天王台駅緩行線(3・4番線)で使用開始となりました。令和6年度は我孫子駅の緩行線(6・7・8番線)で設置予定となっています。今後の快速線への設置については、早期に設置できるようにJR東日本へ要望していきます。
あびバスの延べ利用者数	未達成	コロナが落ち着いてきた現状に鑑み、利用者数は回復状況ではあるものの、コロナ前の水準には戻っていません。今後は、より委託運行事業者と連携し、利用者増に向けた啓発を行っていきます。
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	未達成	目標数値に届かなかったが、ほぼ目標数値に近い実績と考えています。今後も印西市と連携し利用者への啓発を図っていきます。
東海道線との相互乗り入れ往復本数	未達成	R9までに実現させることを目標としており、JR東日本へ直通運転を要望しているところではありますが、実現には至っていません。引き続き要望を続けていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント(理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	公共交通の利用者は、回復傾向にはあるもののコロナ前の水準には戻っていない現状です。公共交通を維持していくためバス・タクシーの利用者数をコロナ前の水準並みにすることや公共交通の運転手が確保できるように公共交通事業者と連携し、支援していかなければならないと考えています。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-4 安全で快適な道路の整備

主管課 : 建設部 道路課

関係課 : 都市計画課、交通政策課

1. 目的

誰もが安全で円滑に移動できる道路環境の整備を進めます。

2. 展開内容

さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。

また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
都市計画道路の整備率	%	目標値		59.4	59.6	59.9	60.6
		実績値	59.2(R2)	59.4	59.4		
道路瑕疵による賠償件数	件	目標値		4	3	2	0
		実績値	5(R2)	2	1		
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	箇所	目標値		7	8	8	10
		実績値	6(R3)	6	6		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
都市計画道路の整備率	未達成	平成30年に事業認可を取得した都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線外1線の整備において、都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線の約100m区間の工事を行いました。しかし暫定供用開始するための県警本部との協議に時間を要し、供用開始ができなかったため目標を達成できませんでした。引き続き暫定供用に向けて協議を進めていきます。
道路瑕疵による賠償件数	達成	事故発生から相手方との過失割合の交渉もあり、時間を要する場合がありますが、速やかに完了できるように事務を進めていきます。また、令和4年度以前に発生した道路瑕疵案件について、継続して示談に向けた事務手続を進めており、相手方への賠償の完了に向けて引き続き進めていきます。
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	未達成	ボランティア団体へ参加団体としての登録を促し、新規登録を増やすための勧誘を引き続き進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	土谷津地区、中峠古戸地区の道路整備について、拡幅用地の取得、寄付が完了し、拡幅工事に着手しました。 半面、下ヶ戸・中里線や下新木踏切など、協議の遅れや交渉の難航により遅延が生じている路線については、早期の事業完了に向けて、引き続き協議・交渉を継続していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-5 利用したくなる公園の整備

主管課 : 都市部 公園緑地課

関係課 :

1. 目的

誰もが使いやすく、過ごしやすい公園づくりを進めます。

2. 展開内容

市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
公園・緑地の面積	ha	目標値		150	150	150	150
		実績値	150(R2)	150	150		
市民手づくり公園の活動団体数	団体	目標値		11	13	14	18
		実績値	10(R2)	10	9		
市民手づくり公園の数	園	目標値		13	15	16	20
		実績値	12(R2)	12	11		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
公園・緑地の面積	達成	開発行為による新規公園の帰属がなかったため、R4から公園・緑地の合計面積の変更はありませんでした。今後、市による新たな公園の整備の予定はありませんが、引き続き、開発行為の帰属等があった際は適切に対応します。
市民手づくり公園の活動団体数	未達成	R5は新規団体からの応募がありませんでした。現在、自治会便利帳の掲載により、自治会へのPRは継続して行っていますが、高齢化が進む中、事業を継続させ、地域のニーズにあった特色のある公園にしていくためには、幅広い世代の参加が必要となります。今後は、広報誌やSNS等を活用して幅広い世代に周知するとともに、活動支援内容の拡充を図ることで、新規登録を推進していきます。
市民手づくり公園の数	未達成	今後、高齢化が進み、活動を行える団体がさらに減少することを見据えて、今後は、広報誌やSNS等を活用して幅広い世代に周知するとともに、活動支援内容の拡充を図ることで、新規登録を推進していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>施策については概ね目標を達成することができました。しかし、「市民手づくり公園」について、活動していただいているボランティアの高齢化が進み団体数が減少している現状を踏まえ、幅広い世代への事業のPRや制度の見直しを行っていく必要があります。</p> <p>また、市内にある公園の多くが、設置後30年以上が経過していることから、施設の修繕や更新など老朽化に対する対応が急務となっており、維持管理費の増加が見込まれています。</p> <p>今後も誰もが安全に安心して利用できる公園の整備や維持管理に努め、市民と協働しながら特色ある公園づくりを進めていきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-6 下水道の整備と普及

主管課 : 建設部 下水道課

関係課 :

1. 目的

衛生的で快適な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的な整備と維持管理を進めます。

2. 展開内容

衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。
また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
下水道の整備率	%	目標値		57.5	57.9	58.4	59.6
		実績値	57.1(R2)	57.6	57.8		
下水道の普及率	%	目標値		85.1	85.5	86	87.4
		実績値	84.6(R2)	84.9	85.2		
重要な管渠の地震対策実施率	%	目標値		43.8	49.6	55.4	72.8
		実績値	38(R2)	47.8	47.8		
水洗化率	%	目標値		99.03	99.04	99.05	99.07
		実績値	99.02(R2)	99.16	99.09		
経常収支比率	%	目標値		112.0	113.0	114.0	117.0
		実績値	111.0(R2)	113.1	111.9		
下水道使用料の徴収率	%	目標値		99.50	99.51	99.52	99.55
		実績値	99.49(R2)	99.6	99.62		
受益者負担金の徴収率	%	目標値		99.03	99.04	99.06	99.10
		実績値	99.01(R2)	95.52	97.18		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
下水道の整備率	未達成	公共下水道整備事業を概ね計画通り進めることはできているものの、開発行為に伴う面積の増が見込みを下回ったことなどにより、R5年度実績では目標値をわずかに下回る結果となりました。 引き続き、計画通り事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
下水道の普及率	未達成	公共下水道整備事業を概ね計画通り進めることはできているものの、従前に比べて人口密度が相対的に低い地域の整備に移行して来ていることや、人口増減の具合による影響もあり、R5年度実績では目標値をやや下回る結果となりました。 引き続き、計画通り事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
重要な管渠の地震対策実施率	未達成	R5年度は前年度整備箇所の新築復旧工事と次期計画策定のみの実施となったことから地震対策実施率は前年度と同値となり、目標値を下回る結果となりました。 R6以降は、本年度策定した第IV期計画に沿って事業を進めるものとし、引き続き、重要な管渠の耐震性能確保に取り組んでいきます。
水洗化率	達成	新規整備エリアにおける下水道接続を促す案内文の配布や戸別訪問による工事説明を行うとともに、広報やHPを通じた下水道接続の啓発などにより、R5年度は目標を達成することができました。 市の水洗化率は既にかかなり高い水準にありますが、今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
経常収支比率	未達成	予定費用及びその財源を適切に予算計上・執行し、経常費用を経常収益で賄うことができているものの、営業外収益の減などによって経常費用の減少額を経常収益の減少額が上回ったことにより、R5年度は目標を下回る結果となりました。 計画的な修繕・更新の実施による費用の平準化や経常的な経費のさらなる縮減に努めるとともに、水洗化率の向上や使用料の適正化など、収益改善に向けた取り組みを進めていきます。
下水道使用料の徴収率	達成	下水道使用料は水道料金と共に徴収しており、水道利用者からは高い徴収率となっているため、R5年度は目標を達成することができました。しかし、井戸利用者からの徴収が滞納になりやすい状況にあるため、納期限までに納めず滞納となっている下水道利用者に対して、引き続き督促・催告を地道におこなってまいります。市の下水道使用料徴収率は既にかかなり高い水準にありますが、今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
受益者負担金の徴収率	未達成	受益者への説明を丁寧に行い、徴収率は前年度よりも改善しましたが、一部の受益者からの負担金納入が滞り、R5年度は目標を達成することができませんでした。滞納者に対して、粘り強く催告を行い早期回収に努めてまいります。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>下水道事業の経営は、人口減少が進む中、下水道整備や既存施設の老朽化に伴う改築更新など継続して投資を行う必要があり、厳しい経営環境となることが懸念されています。</p> <p>引き続き安定的に事業を行うため、経営状況を的確に把握したうえで経営戦略に基づき、中長期的な視点から計画的な経営に取り組み、定期的な検証・評価を次の見直しに繋げることで持続可能な下水道サービスの実現に努めます。</p> <p>水洗化率、下水道使用料の徴収率については令和5年度の目標値を達成したものの、経常収支比率、受益者負担金の徴収率は目標を下回る結果となっており、引き続き、経常的な経費のさらなる縮減に加え、水洗化率の向上や使用料の適正化などの収益改善に向けた取り組みを進めるとともに、滞納対策に注力し、財源の確保に努めていきます。</p> <p>厳しい経営環境のなか、下水道整備率と普及率の大幅な向上は難しい状況にありますが、限られた財源を有効活用し、着実に未普及地区の整備を進めていきます。</p> <p>既設下水道施設については、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に修繕・改築を実施してまいります。</p> <p>地震対策では、既存施設の耐震化と避難所へのマンホールトイレ設置を計画的に進め、災害に強い都市基盤の整備を推進します。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 5-7 安全な水道水の安定供給

主管課 : 水道局 経営課

関係課 : 工務課、生活衛生課

1. 目的

水道の基盤を強化し、将来にわたり安全な水道水を供給します。

2. 展開内容

業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。

また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
経常収支比率	%	目標値		115.0	115.0	115.0	115.0
		実績値	115.1(R2)	110.6	110.6		
料金回収率	%	目標値		106.0	106.0	106.0	106.0
		実績値	106.6(R2)	100.1	98.9		
有効率	%	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	95.0(R2)	93.3	92.4		
管路耐震適合化率	%	目標値		45.2	46.3	47.50	51.0
		実績値	44.0(R2)	45.6	46.5		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
経常収支比率	未達成	事業収支は黒字となりましたが、令和元年度以降、企業債の借り入れを再開したことが大きな要因となっているため、内部留保資金に占める企業債残高（負債）の割合は増加している状況です。今後も引き続き黒字となるよう給水収益を始めとした経常収益の向上と、経常費用の削減に努めます。
料金回収率	未達成	目標値は下回ったものの、ほぼ100%でありました。今後も引き続き、給水費用が給水収益で賄われるよう、常に社会情勢の変化や有効水量を意識しながら、給水収益の適正額について定期的な検証と見直しを行っていきます。
有効率	未達成	水道施設及び給水装置を通して給水される水量が、概ね有効使用されているが、目標値を下回っていることから、今後は有効率の向上に向けた新たな取組の実現が必要と考えます。
管路耐震適合化率	達成	水道事業基本計画に基づき更新を行いました。今後も計画に従い更新を行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へと移行されたことから、家庭における水需要予測の見直しを行う必要があると考えます。また、老朽化した浄水場設備の更新及び管路の耐震化については、事業収支のバランスを見ながら引き続き進めていきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 6-1 地球環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : 生活衛生課

1. 目的

環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

2. 展開内容

地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	t-CO2	目標値		26,955(R3)	26,182 (R4)	25,408(R5)	23,862(R7)
		実績値	27,728(R2)	26,512(R3)	24,573(R4)		
1人1日当たりの総ごみ(可燃・不燃・資源) 排出量	g	目標値		808	806	804	799
		実績値	842 (R2)	801	781		
最終処分量	t	目標値		3,000	2,928	2,856	2,639
		実績値	3,377 (R2)	2,663	2357.52		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	達成	引き続き、市の事務事業を通して排出されるCO2の排出削減に向け取り組みます。
1人1日当たりの総ごみ（可燃・不燃・資源）排出量	達成	引き続き、ごみ排出量削減に向けた啓発を行います。
最終処分量	達成	引き続き、ごみ排出量削減に向けた啓発を行うとともに、可能な限り焼却灰の資源化に努めます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	温室効果ガス排出量のうち6割近くを占めている廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量の削減が課題であるため、今後市民に向けてもごみの削減を広く呼び掛けていく必要があります。また、燃料使用による温室効果ガス排出量についても、新型コロナウイルスの影響以降取り組みが鈍化しているため、再び目標達成に向けて積極的に推進していく必要があります。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 6-2 自然環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : 生活衛生課、治水課、公園緑地課

1. 目的

水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てます。

2. 展開内容

市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。

手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
手賀沼のCOD年平均値	mg/L	目標値		7.7	7.7	7.7	7.7 (R7)
		実績値	10.0 (R2)	10.1	9.8		
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	種	目標値		18以下	18以下	18以下	18以下
		実績値	18(R2)	18	20		
緑の確保量	ha	目標値		1,573	1,579	1,584	1,600
		実績値	1,566(R2)	1,562	1,561		
手賀沼清掃参加団体	団体	目標値		19	19	19	19
		実績値	19 (R1)	19	14		
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	回	目標値		7	7	7	7
		実績値	7 (R2)	7	7		
みどりのボランティア登録者数	人	目標値		432	455	479	550
		実績値	408(R2)	458	522		
古利根沼水辺清掃参加者数	人	目標値		20	22	24	30
		実績値	18(R2)	15	20		
利根川河川清掃参加者数	人	目標値		113	114	116	120
		実績値	111(H30)	82	87		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
手賀沼のCOD年平均値	未達成	生活排水による影響は下水道普及等により年々減少しているが、面源系による影響は効果的な対策をとることが難しいため減少しにくい状況です。これを改善していくためには、千葉県と我孫子市を含めた流域自治体が協力していく必要があります。今後も、手賀沼の汚濁負荷の軽減を図るため浄化事業、流域住民への啓発活動を実施していきます。
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	未達成	アメリカザリガニ及びミシシッピアカミミガメが条件付き特定外来生物に指定されたため、達成には至りませんでした。市民の目撃情報等に対し、速やかに対応し、生態系の環境保全に取り組んでいきます。
緑の確保量	未達成	令和5年度の緑の確保量は、指定から30年を経過した生産緑地の地権者から買取申出が提出され生産緑地(0.63ha)の行為制限が解除されたこと、保存緑地(0.16ha)の指定解除があったことから、0.79ha減少しました。今後も保存緑地等の新規指定による緑の確保量の増加について引き続き検討していきます。
手賀沼清掃参加団体	未達成	水質浄化に加え、その周辺の環境美化を進めることで市民が誇れる沼としての意識向上を図るため、今後も引き続き、クリーン手賀沼推進協議会構成団体による手賀沼清掃事業を通じて啓発活動に取り組んでいきます。R5年度は悪天候で一部、手賀沼清掃が実施できなかったため、未達成となっています。
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	達成	引き続き、自然観察会等を通して、自然環境保全の啓発活動に取り組んでいきます。(例年7回開催)
みどりのボランティア登録者数	達成	令和5年度の新規登録は、花壇活動を行う団体が新たに9団体(77名)、既存団体への参加が2団体(2名)、個人での登録が1名の計80名でした。また、令和5年度の登録解除は、花壇活動を行う団体が1団体(5名)、既存団体からの退会が11名の計16名でした。結果として、令和4年度から64名増加し、登録者の合計が522名となったため、目標を達成することができました。今後は、広報誌やSNS等を活用して幅広い世代に周知するとともに、活動支援内容の拡充を図ることで、新規登録を推進していきます。
古利根沼水辺清掃参加者数	未達成	令和5年度の古利根沼水辺清掃の参加者は、市内の里山活動を行うボランティア(4団体)に周知を行った影響もあり、令和4年度から5名増の20名となりました。しかし、利根川河川敷清掃と日程が重なったことから参加辞退があり、目標を達成できなかったため、令和6年度はボランティアへの周知を継続するとともに、他のイベントと重ならないように、開催日程についても考慮し、古利根沼水辺清掃の参加者拡充を図ります。
利根川河川清掃参加者数	未達成	参加人数を増やすために、広報あびこ、自治会への呼びかけのほかSNSを活用しました。河川への理解を深める取組として、イベントの周知に努め、参加人数が増えるように検討していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント(理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	手賀沼のCOD値は、依然高い数値が続いています。また水質とともにナガエツルノゲイトウなどの特定外来種の繁茂は、生態系にも深刻な影響を及ぼすことから早急な対応が必要です。引き続き事業者や行政、市民で広域的な取り組みを推進し環境保全活動を推進していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 6-3 生活環境の保全

主管課 : 環境経済部 生活衛生課

関係課 : 商業観光課、手賀沼課

1. 目的

快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めます。

2. 展開内容

清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
地下水水質環境調査における環境基準達成率	%	目標値		83.3	86.7	90.0	100
		実績値	80.0(R2)	70.0	60.0		
市内の騒音環境基準達成率	%	目標値		81.5	85.2	88.9	100
		実績値	77.8(R2)	83	78.6		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地下水水質環境調査における環境基準達成率	未達成	植物用の肥料等に含まれる硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、また、自然由来の可能性が高い砒素の基準を超過している井戸が複数あったため、達成には至りませんでした。引き続き、市内の地下水汚染状況の把握に努め、基準超過している井戸については必要に応じて監視を行います。
市内の騒音環境基準達成率	未達成	国道6号線の交通騒音による環境基準超過が複数箇所あったため、達成には至りませんでした。引き続き、市内の騒音状況を把握するとともに地域住民の生活に支障をきたしている場合は、当該結果を用いて対応していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めています。今後も、生活環境に問題が生じないよう環境基準のモニタリングを継続していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 7-1 生涯学習の推進

主管課 : 生涯学習部 生涯学習課

関係課 : 鳥の博物館、図書館

1. 目的

市民が、地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
図書館の年間貸出冊数	冊	目標値		985,773	988,619	991,464	1,000,000
		実績値	982,928(R1)	924,715	883,337		
図書館利用の登録率	%	目標値		35.6	35.9	36.3	37.3
		実績値	35.3(R2)	27.0	29.4		
我孫子地区公民館の年間利用率	%	目標値		61.0	61.5	62.0	63.5
		実績値	60.5 (R1)	56.8	57.4		
湖北地区公民館の年間利用率	%	目標値		45.5	46.0	46.5	48.0
		実績値	45.0 (R1)	42.4	43.3		
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	人	目標値		9,672	9,717	9,763	9,900
		実績値	9,626 (R1)	6,916	6,638		
鳥の博物館年間来館者数	人	目標値		33,020	33,416	33,812	35,000
		実績値	32,624(R1)	27,405	24,971		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
図書館の年間貸出冊数	未達成	令和5年度は生涯学習センターアピスタの給排水工事を実施するにあたり、令和5年12月4日から11日までアピスタ本館が臨時休館したこと、布佐分館の昇降機更新工事に伴い、令和6年1月10日から2月29日まで休館したことにより貸出冊数が大きく減少しました。大規模工事に伴う休館は避けられませんが、修繕計画を立て、なるべく利用する方の影響を少なくするように努めていきます。今後の展望としては、令和6年4月からの湖北台分館の利用方法変更にもなう貸出・利用者減が考えられますが、令和6年10月から新たに電子図書館サービスを導入し、今まで図書館を利用したことがない市民に利用してもらえるような取り組みを予定しています。
図書館利用の登録率	未達成	図書館利用登録者数は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和3年度に大きく減少しましたが、その後は徐々に増加を続け、令和5年度は38,627人で前年度より3,190人増加しました。市の人口も増加傾向にあるため、登録率はそれほど伸びませんでした。コロナ前の30%台の登録率に近づくことができました。今後は令和6年度秋ごろに電子図書館を導入することで、いままで図書館を利用したことがない市民へのPRを行うとともに、小・中学校と連携し積極的に電子図書館を利用してもらい利用登録を増やしていきます。
我孫子地区公民館の年間利用率	未達成	令和4年度と比較すると微増しているものの目標未達成となっています。学習室の利用抽選には多くの申し込みがありますが、人気が高い学習室、曜日、時間帯は落選率が高くなっています。生涯学習団体は午前から午後にかけて活動する高齢者団体が多いことが要因として考えられますが、落選した団体に、空いている学習室の利用を促すなどの案内を通して、利用率の向上を図ります。また、市民が快適に学習できるよう施設の適正な維持管理を行うとともに、中長期的な視点にたって計画的に修繕を行うとともに、市民の学びやすさや利用しやすさという視点に立って、機能の充実を図る必要があり、令和6年度はWi-Fi環境を整備、各学習室でのインターネット利用を可能にすることで、施設の利便性の向上を図ります。
湖北地区公民館の年間利用率	未達成	令和4年度と比較すると微増しているものの目標未達成となっています。令和6年度、利用率が低い学習室の活用として、夜間の時間帯に、勤労者向けの講座を開催することにより今後の利用率の向上を目指します。
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	未達成	令和4年度と比較して、278人減少しています。公民館学級の中で、長寿大学については、入学者数が近年定員に満たないため、学習にゆとりを持たせ、もっと参加しやすいよう8月と3月を除いた期間に実施し、年間開催回数を3回減らしたこと、また昨年度は学級生が年度途中でいつもより辞めた方が多く、延べ人数として703人減少したことが、大きな要因となりました。一方、出前講座の利用人数については、375人増加しています。今後も、生涯学習出前講座を通じて、市民の自主的・主体的な学習を支援します。また、効率的に公民館情報を発信するため、従来の情報誌やチラシのほか、SNS等を利用した情報発信の充実を図り、受講者数を増やしていきます。
鳥の博物館年間来館者数	未達成	夏休みイベントなどが従来どおりの実施となり、入館者数は前年同月よりも増加（例えば8月では前年度比873人増加）していますが、施設設備工事の実施により、R5年11月6日からR6年3月31日まで臨時閉館としていたため、目標値を達成できませんでした。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	公共施設個別施設計画（長寿命化計画）により、令和5年度は、施設修繕による休館が必要となったことにより、指標を達成することができませんでした。今後も個別施設計画に基づき、施設環境整備を進めるとともに、学習情報や学習機会の充実、学習活動の支援を通して、生涯学習の推進を図っていきたく考えます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興

主管課 : 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課 : 生涯学習課

1. 目的

歴史文化財を次世代に継承していくとともに、文化・芸術の振興を図ります。

2. 展開内容

歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。
誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
文化芸術団体が開催したイベント (後援等)の入場者数	人	目標値		46,614	47,091	47,567	49,000
		実績値	46,137(R1)	33,466	37,786		
市民文化祭の来場者数	人	目標値		14,462	15,169	15,877	18,000
		実績値	13,754(R1)	6,350	9,777		
めるへん文庫の応募者数	人	目標値		138	150	163	200
		実績値	125(R2)	130	99		
郷土芸能祭の入場者数	人	目標値		256	265	274	300
		実績値	247(R1)	179	250		
文化財施設等の年間見学者数	人	目標値		16,824	17,159	17,495	18,500
		実績値	16,489(H30)	12,571	14,748		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
文化芸術団体が開催したイベント（後援等）の入場者数	未達成	新型コロナの影響による入場者数の減少した状況が続いており、昨年よりは入場者数が増加しましたが、目標を達成することができませんでした。目標値に近づけるよう、文化芸術団体と連携しながら実施します。
市民文化祭の来場者数	未達成	新規に文化祭のプレイベントとして、体験を通じて文化を身近に感じてもらい、興味を持つ入口となるよう「みんなの文化体験会」を実施しました。非常に好評だったことから今後も同様の形態で開催することを検討します。また、SNS等を活用し文化祭の周知に努めたが、未達成となってしまいました。今後も、引き続き市内の文化団体と連携しながら実施します。
めるへん文庫の応募者数	未達成	募集・受付・一次審査を業務委託し、全国に向けSNSで発信することにより、我孫子市のめるへん文庫をPRし、我孫子市の知名度アップにも貢献できました。また、インターネットでの作品受付を行ったことで、高校生からの応募が増加しました。しかし、全体的な応募者数は、小・中学生の応募が125件から82件に減少したことにより目標を達成することができませんでした。今後はめるへん文庫事業の魅力を、図書館と連携しながら市内の小・中学校・高等学校に発信し事業展開していきます。
郷土芸能祭の入場者数	未達成	新型コロナの影響による入場者数の減少した状況が続いており、昨年度実績（179人）よりは入場者数が増加しましたが目標を達成することができませんでした。しかし昨年度新型コロナ拡大の影響で出演できなかった団体が、活動を開始し出演できたことは、民俗芸能の伝承に大きく貢献し、一定の成果がありました。今後も継承団体のモチベーションを維持するためにも、引き続き実施します。
文化財施設等の年間見学者数	未達成	各施設イベント等の開催数も増え、見学者数も増加していますが、目標を達成することができませんでした。なお、R5年度は旧井上家住宅・旧村川別荘・白樺文学館等では外部団体や民間との連携を積極的に行い、イベントや展示を行いました。特に旧井上家住宅の活用を図るため、R4年度に撮影を行った映画のパネル展をあびこの魅力発信室、映画配給会社等と連携を行った結果、前年同月の3倍近くの来場者がありました。また、旧井上家住宅のトイレは屋内のもので個室のものしかなく、イベント実施の際になど多くの人々が同時利用できるよう来館者から改善の声があったため、土足で利用できる屋外観光用トイレを設置し、R6年度より運用を開始します。あわせて、R6年8月に湖北行政サービスセンターの閉鎖に伴い付随している郷土資料室は6月までで閉室します。今後、旧井上家住宅や屋外トイレを活用するよう民間や学校との連携をできるイベントを企画していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>新型コロナが影響した状態が続いている面もあり未達成となりましたが、新たな視点での情報発信、イベント開催など活性化に向けて取り組みました。また、後年度の目標達成に向けてハード整備にも取り組みながら既存事業の転換への準備も進めました。</p> <p>めるへん文庫事業では、めるへん文庫事業のPRと、「創造し書き自己表現すること」を目的として、創作ワークショップ「めるへん学校」を開催しました。ワークショップに参加した子どもたちからの評判も上々で、参加者から「めるへん文庫賞」への応募作品も寄せられています。図書館が令和6年3月に制定した「我孫子市子どもの読書活動推進計画（第二次）」においても、読書活動が書くこと、創造すること、自己を表現する力の育成へとつながっていくことを期待しており、今後は図書館とも連携した事業展開を目指していきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 7-3 スポーツの振興

主管課 : 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課 :

1. 目的

子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりを進めます。

2. 展開内容

誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくとともに、競技力向上への支援や指導者の育成、スポーツ施設の適正な維持管理と運営に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
市民体育館の延べ利用者数	人	目標値		167,671	172,337	177,003	191,000
		実績値	163,005(R1)	151,377	156,863		
体育施設の延べ利用者数	人	目標値		79,150	83,320	87,490	100,000
		実績値	74,980(H30)	84,893	86,407		
市民体育大会の参加者数	人	目標値		3,270	3,616	3,962	5,000
		実績値	2,924(R1)	4,429	4,208		
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	人	目標値		372	397	423	500
		実績値	346(R1)	377	428		
新春マラソンの参加者数	人	目標値		1,642	1,713	1,785	2,000
		実績値	1,570(R1)	1,105	885		
地域スポーツフェスタの参加者数	人	目標値		352	381	411	500
		実績値	322(R1)	220	214		
ファミリースポーツテストの参加者数	人	目標値		218	234	251	300
		実績値	201(R3)	99	122		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民体育館の延べ利用者数	未達成	目標値には届きませんでした。前年度実績（151,377人）より増加しました。新型コロナウイルスの5類移行に伴うスポーツ活動の活性化や施設の適切な維持・管理が要因であると考えられます。今後も施設を活用したイベント開催やSNS等を利用した周知の強化、指定管理者との連携により魅力ある施設を目指します。
体育施設の延べ利用者数	達成	新型コロナウイルスの5類移行に伴うスポーツ活動の活性化やスポーツ施設の適切な維持・管理が要因であると考えられます。今後も、魅力ある施設を目指し、適切な維持・管理を継続すると共に、スポーツ実施率を高める施策を展開します。
市民体育大会の参加者数	達成	印西市の陸上競技場改修に重なり、陸上競技の開催が中止となったことで前年度に比べ参加者が減少しました。全体としては参加者は前年度と同程度であり、目標値を達成していることから、今後も関係機関と連携し実施します。
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	達成	新型コロナウイルスの5類移行に伴うスポーツ活動の活性化や地域の企業等と連携した教室等の同時開催が要因と考えられます。今後も、より魅力あるイベントとするため関係機関等と連携しながら実施します。
新春マラソンの参加者数	未達成	前年度に比べ、教員の働き方改革等により更に学校単位での参加が減少しました。今後、クラブチーム単位での参加の働きかけ等を強化していきます。学校とは別の参加呼びかけについては、令和5年度は周知・申込のタイミングが合わなかったため、令和6年度に取り組んでいきます。
地域スポーツフェスタの参加者数	未達成	令和4年度より、3会場で行っていたイベントを1会場で行うよう変更したため、目標の数値よりも下回っています。一方で、1会場あたりの参加人数を令和3年度以前と比較すると大幅に増加していることから、今後も、より魅力あるイベントとするため関係機関等と連携しながら実施します。
ファミリースポーツテストの参加者数	未達成	イベントの周知が行き届かなかったこと等が未達成の要因と考えられます。今後、目標値に近づけるべく、イベント内での新企画等を検討したいと考えます。参加申込方法についても、令和6年度よりLINE申請を出来るようにしたので、引き続き行っていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>新型コロナの5類移行に伴うスポーツ活動の活性化や事業実施方法や周知の工夫で目標を達成する事業もありました。今後も様々な媒体を使つての周知やスマート申請などを活用した申込増加策に取り組み、スポーツに親しむ環境づくりへとつなげていきます。</p> <p>イベントの参加者数については、コロナ感染症拡大防止の視点から大会自体をキャンセルせざるを得ない状況が続く、その間に実行委員会等の運営ノウハウの継承が難しくなっている実情があります。指摘のあった「新春マラソン大会」については、今までは教員が引率して小学生が参加する形を取っていましたが、教員の働き方改革に伴い、今後はこの形での参加増は見込めません。前例にとらわれず、新たな視点から大会運営を行い、参加者に選ばれる、魅力ある大会になるよう、実行委員会を通じて検討していきます。</p>

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 8-1 男女共同参画の推進

主管課 : 企画総務部 秘書広報課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。
また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
審議会等の女性委員比率	%	目標値		35.0	36.0	37.0	40.0
		実績値	34.0(R2)	32.4(R3)	31.3 (R4)		
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	%	目標値		3.8	5.1	6.3	10.0
		実績値	2.6(R2)	23.3	32.6		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
審議会等の女性委員比率	未達成	審議会等の委員が、各組織からあて職で就任している場合が多いため、各組織で女性が役職等に就くのを待つしかない状況となっています。
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	達成	対象職員及び所属長への面接を通して、育児休業・部分休業制度の説明を行うと共に、新たに「男性職員の育児参画促進に向けた面談シート」及び「育児休業収入シミュレーション」を作成・周知し、職場で育児休業・部分休業の取得がしやすい環境整備に努めた。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	男女共同参画プランに掲げる77事業は概ね順調であることから、施策全体として、ほぼ順調であると考えます。今年度は自治会長の女性比率は本プラン開始後最高となり、県内トップとなりました。一方で審議会等の女性委員比率は低下傾向が続いています。設置根拠により定められた各組織の代表職で構成されている審議会等が多いため、所属する組織で役職に就く女性が増えないことには、目標達成が難しい状況にあるといえます。さらに、全国で導入自治体が増えているパートナーシップ制度・ファミリーシップ制度について、制度導入の検討を進めていく必要があります。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 8-2 人権尊重社会の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 :

1. 目的

すべての人々の基本的な人権が尊重され、かけがえのない人生をその人らしく過ごせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	%	目標値		22.3	23.8	25.4	30.0
		実績値	20.7(R2)	45.6	42.3		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	達成	令和5年度受講者：市職員、市職員新規採用職員研修、民生委員児童委員 前年度より実績が減少しましたが、目標値は達成しました。ゲートキーパー研修及びゲートキーパーに関する啓発等を行い、ゲートキーパーの役割を知っている人の割合を増やしていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	すべての人が人権について理解を深めることができるよう周知啓発を行うことができました。また、自殺対策として、市職員、民生委員・児童委員に向けた、ゲートキーパー研修及び啓発等を行い、ゲートキーパーの役割の理解啓発を図ることができました。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 8-3 平和社会の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます。

2. 展開内容

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
リレー講座開始からの派遣中学生 OB・OGの参加延べ人数	人	目標値		93	107	121	163
		実績値	79(R2)	105	118		
平和事業への参加者数	人	目標値		337	363	390	470
		実績値	310(R2)	360	343		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
リレー講座開始からの派遣中学生OB・OGの参加延べ人数	達成	市内小学校全校でリレー講座を行うことができ、派遣中学生OB・OGに参加してもらう機会が増えました。引き続き、全校でのリレー講座を実施できるよう小学校と連携していきます。
平和事業への参加者数	未達成	手賀沼とうろう流しが天候不良により中止となったため、目標人数に達しませんでした。今後もより多くの方に参加してもらうため、引き続きSNS等を活用し周知していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	派遣事業では台風の影響により急遽、派遣先を長崎から広島に変更しましたが、全6校12名の中学生を派遣し、被爆の実相や平和の尊さを学び、平和の集いにおいて派遣を通して感じたことや学んだことを報告することができました。リレー講座は市内全小学校13校で実施することができました。被爆体験者が少なくなっている中、若い世代へ平和の尊さを受け継ぐため引き続き事業を推進していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 8-4 国際交流・多文化共生の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 :

1. 目的

国際理解を深めるとともに、国籍等の異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として生きていくための多文化共生を進めていきます。

2. 展開内容

在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
「外国人のための日本語教室」登録者数	人	目標値		64	70	76	93
		実績値	58(R2)	77	76		
国際交流まつりの来場者数	人	目標値		682	683	685	690
		実績値	680(R2)	323	770		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
「外国人のための日本語教室」登録者数	達成	学習者のレベルに合わせて、ニーズにあった教材を取り入れ、わかりやすい授業に努めるなど工夫を施しながら授業を実施しました。 今後も在留する外国人の支援となるよう本事業を進めていきます。
国際交流まつりの来場者数	達成	前日本大使とのご縁でキプロス共和国やウズベキスタンといった国がブースを出展。併せて紹介動画の放映等も行い新たな交流が実現しました。その他、お茶席や着付け体験といった日本の伝統芸能体験や、キッズダンス、ゴスペルなどの催しで賑わい、コロナ禍前並の来場者数となりました。今後も国際交流の輪が拡大していくように本事業を進めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
順調	あびこ国際交流まつりでは、日本ウズベキスタン協会が初めて出展したほか、キプロス共和国のブースなど国際色豊かなイベントを開催することができました。引き続き、多文化共生社会の実現のため、我孫子市国際交流協会と連携していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称： 市民とともに作る協働によるまちづくりの推進

主管課： 市民生活部 市民協働推進課

関係課： 秘書広報課、行政管理課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
市民交流を目的としたイベントの参加者数	人	目標値		2,657	2,825	2,994	3,500
		実績値	2,488(R1)	1,147	1,030		
市民活動ステーションの利用件数	件	目標値		6,805	6,844	6,883	7,000
		実績値	6,766(R1)	4,549	5,394		
自治会・町内会への加入率	%	目標値		70.6	71.3	72.0	74.0
		実績値	69.9(R2)	69.0	67.7		
近隣センターの稼働率	%	目標値		46.5以上	46.5以上	46.5以上	46.5以上
		実績値	46.5(R1)	42.4	42.7		
市ホームページのアクセス数	アクセス	目標値		9,939,216	10,124,570	10,309,928	10,866,000
		実績値	9,753,855(R1)	15,872,551	15,804,208		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民交流を目的としたイベントの参加者数	未達成	令和3年度以前は2日間の中で講演とイベント（展示・参加型企画・ステージなど）を実施し、延べ約2,500人の参加者がありましたが、令和4年度から講演（企画部門）とイベント（まつり部門）の日程を分けた開催に変更しています。 令和5年度の企画部門は、1日の開催で2つの講演と2つのワークショップを開催し、参加者は115人でした（令和4年度は5日間で6講演開催し295人）。参加者増加のためには、広報を強化する必要があります。 まつり部門の参加者は915人で、令和4年度から160人増加しており、増加傾向にあります。今後は、特に若い世代の参加者数を増やすイベントの実施に取り組みます。
市民活動ステーションの利用件数	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響で活動を縮小する団体もあり、利用数が減少していましたが、新規の登録団体数も増え、利用件数は増加傾向にあります。引き続き、市民活動団体の支援に取り組みます。
自治会・町内会への加入率	未達成	加入世帯数に大きな減少は見られないものの、外国人人口の増加や、1世帯あたりの世帯員数の減少（単身世帯増）等の社会的要因により、母数である全世帯数が増え、加入率が低下しています。しかし、近隣自治体及び全国の人口10万人以上～20万人未満の自治体における加入率（令和3年度総務省調査）と比較すると、加入率は高い状況にあります。今後も加入率を維持するため、転入者へのチラシ配布、広報あびこでの周知等自治会活動の活性化を支援します。
近隣センターの稼働率	未達成	夏頃に施設のエアコンの故障が相次ぎ、急遽利用不可としたこと等により、利用率が令和4年度と比較して横ばいとなりました。各地区で稼働率に差がある対策として、我孫子市のHPで地区別の利用率を公表することにしました。利用率を公表することで、利用者が予約しやすい施設や曜日等がわかるようになります。今後の利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなり、緩やかに増加することが想定されます。
市ホームページのアクセス数	達成	目標は達成しましたが、令和4年度よりアクセス数は減少しました。要因は、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類となり、新型コロナワクチンに関するページへのアクセスが減ったことによるものです。一方で、ほとんどのイベントが通常どおりに再開されたことから、イベントへのアクセスは増え、今後もイベントに関するアクセスは増えると考えられます。また、情報発信をさらに強化するため、令和5年11月にトップページをリニューアルしました。今後はリニューアルしたトップページを効率的に活用し、より効果的な情報発信に努めていきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	感染拡大の長期化により、多くの人の活動・生活スタイルが変化したことで、まちづくりへの参加意識が低下するなど、様々な外的要因により指標は未達成となっています。しかし、市民活動ステーションの新規登録団体や新たなイベントの後援申請の増加、近隣市と比較した自治会等加入率、近隣センターの昼間稼働率について、一定程度の水準を維持している点は評価できます。今後、地域への帰属意識や誇りを高める手法、多様な世代がまちづくりに参画していく手法を検討します。

令和5年度 施策評価表

施策名称 : 効率的・効果的な行財政運営の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 : 人事課、行政管理課、資産管理課、財政課、収税課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
一人当たりの時間外勤務数	時間	目標値		112.2	109.3	106.5	97.8
		実績値	115.1(R1)	113.1	103.2		
経常収支比率	%	目標値		全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下	全国の類似団体の平均以下
		実績値	93.3(R2)	88.2 (R3)	92.9 (R4)		
財政調整基金の年度末残高	万円	目標値		標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%
		実績値	234,700(R2)	326,700 (R3)	421,700 (R4)		
市税（現年課税分）の収納率	%	目標値		98.76	98.81	98.86	99.00
		実績値	98.71(R2)	98.95	98.92		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
一人当たりの時間外勤務数	達成	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、新型コロナウイルス感染症対応に係る業務が終了したため、時間外勤務時間数の減少につながりました。今後も、適正な人員配置を行い、職員一人当たりの時間外勤務時間数が少なくなるよう努めていきます。
経常収支比率	未達成	令和4年度実績においては普通交付税の追加交付の影響があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ小さくなったことや、光熱水費の高騰等により、前年度比4.7%増の92.9%となり、目標としていた全国の類似団体の平均(92.7%)を上回る数値(目標未達成)となりました。 今後は、新クリーンセンター整備のために借入れを行った地方債の償還が発生することから、経常的経費のさらなる削減と投資的経費の重点的・効果的配分を図るとともに、一層の財源確保を行い、目標達成に努めていきます。
財政調整基金の年度末残高	達成	令和4年度実績においては、新クリーンセンター整備事業を実施するための繰入金や地方債の増加があり、当初予算への繰入額が前年度より少なかったことで、目標としていた標準財政規模の10%(254,709万円)を上回る数値(目標達成)となりました。 今後も引き続き、目標達成に努めていきます。
市税(現年課税分)の収納率	達成	市税全体の収納率として前年度と同水準を確保することができました。令和5年度に地方税統一QRコードによる収納を開始し、徴収率と納税者の利便性向上に努めています。 引き続き、自主財源である市税を適正に確保するため、滞納処分を確実に実施し、徴収率の向上を図るとともに、納税者の利便性向上のための取組を推進していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント(理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	指標の達成状況は概ね良好でしたが、経常収支比率が大きく上昇していることから、今後ますます厳しい財政状況となることが想定されます。DXの推進や事業手法の見直し等により業務の効率化を図っていくとともに、社会情勢や市民ニーズの変化を的確に捉え、事業そのものの必要性の検証を含め、持続可能な行財政運営に向けた取組を強化していきます。

令和5年度 施策評価表

施策名称： 戦略的なシティプロモーション

主管課： 企画総務部 秘書広報課

関係課：

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
魅力度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		567	543	520	450
		実績値	590(R3)	615	553		
魅力度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.2	6.5	6.9	8.0
		実績値	5.8(R3)	6	6.4		
認知度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		247	237	228	200
		実績値	256(R3)	252	250		
認知度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		34.4	35.0	35.7	37.5
		実績値	33.8(R3)	33.8	32.8		
情報接触度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		266	253	240	200
		実績値	279(R3)	345	352		
情報接触度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		21.8	22.7	23.5	26.0
		実績値	21.0(R3)	18.6	17.8		
居留意欲度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		346	317	288	200
		実績値	375(R3)	382	409		
居留意欲度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.0	6.1	6.3	6.7
		実績値	5.8(R3)	6.2	5.7		
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	回	目標値		143	155	166	200
		実績値	132(R2)	556	600		

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
魅力度（地域ブランド調査順位）	未達成	<p>令和5年度も魅力度及び認知度向上を目標に、市の魅力を市内外へ積極的にPRしました。特に令和5年度は、住宅地価上昇率に関するニュースに加え、「JR常磐線での都内へのアクセスの良さ、手賀沼をはじめとする豊かな自然、手ごろな住宅価格が都心からの移住希望者を惹きつけている」という分析記事が多くのメディアで紹介されており、認知度及び移住に関する情報接触度、居住意欲度に好影響を及ぼしたと考えています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和6年度は、より直接的に移住者獲得につなげるため、新たに大手不動産ポータルサイトを活用したWEB広告を開始します。WEB広告では、東京圏在住で、当該サイト利用者をターゲットに市の魅力をPRします。さらに、市内西側にスポットをあてたこれまでの移住促進リーフレット「住み替えあびこナビ」に加え、新たに「住み替えあびこナビEAST」を作成し、市内東側の魅力にスポットをあてたPRにも取り組んでいきます。</p>
魅力度（地域ブランド調査点数）	未達成	
認知度（地域ブランド調査順位）	未達成	
認知度（地域ブランド調査点数）	未達成	
情報接触度（地域ブランド調査順位）	未達成	
情報接触度（地域ブランド調査点数）	未達成	
居住意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	
居住意欲度（地域ブランド調査点数）	未達成	
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	達成	各課からのプレスリリースやイベント情報をもとに、定期的に複数のニュースサイト等へ投稿した結果と捉えています。上記地域ブランド調査における、市への接触度向上のためにも、今後も継続して実施していきます。

5. 施策の評価

評価区分	評価コメント（理由、課題、改善点など）
ほぼ順調	<p>本施策では、移住・定住化を促進するための魅力発信に取り組んでいます。令和5年度も、選ばれる移住先として市の魅力を訴求するため、FM・AMラジオ放送、都心の企業で働く女性向けのフリーペーパー「シティリビング」への広告掲載、同紙面を活用した移住促進リーフレット「住み替えあびこナビ」の制作・配布など、限られた予算の中で効果的な情報発信となるよう、工夫を重ねながら事業を実施しました。特に令和5年度は、住宅地価上昇率に関するニュースやこれに関連する分析記事等が多くのメディアで紹介されたこともあり、我孫子市の居住環境の良さに注目が集まりました。また、転入超過は8年連続となっており、こうした事象は、移住・定住PRの効果の表れであると分析しています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和6年度は、より直接的に移住促進につなげるため、大手不動産ポータルサイトを活用し、東京圏在住で当該サイト利用者をターゲットとしたWEB広告を開始します。WEB広告を行うことで、課題であった効果測定について、アクセス数やクリック数だけでなく、設定ターゲットごと、エリア（都県）ごとにパフォーマンスの報告を受けるなどし、効果検証や次年度以降の施策の方向性の検討に活用していきたいと考えています。</p> <p>さらに、これまでの「住み替えあびこナビ」は市内西側にスポットをあてており、市東側への移住促進PRが課題であったことから、新たに「住み替えあびこナビEAST」を制作し、市東側の自然の豊かさと住宅の値ごろ感を押し出したPRにも取り組みます。西側と東側のそれぞれの良さを知ってもらうことで、求める住環境を我孫子市の中で探してもらい、市内への移住・定住につなげていきたいと考えています。</p>